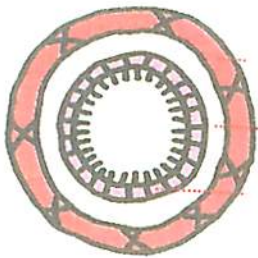


気管支喘息

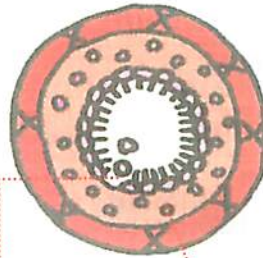
気管支喘息は空気の通り道である気道の内側に炎症が起きるため、わずかな刺激(発熱など)で急に狭くなって咳が出て息がとても苦しくなります。発作はとても苦しいもので特に明け方ひどくなります。治療を受けて発作が出ないようにコントロールすれば健康な人と同じ生活をおくることができます。

健康な人の気道



ぜん息の人の気道

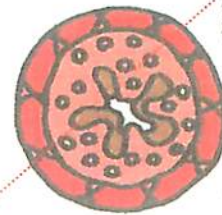
発作がないとき



粘膜から上皮細胞がはがれ落ち、刺激に過敏になる。

炎症細胞が粘膜下層に増えて集まり、気道が収縮しやすくなる。

発作のとき



炎症によりはれて、むくむ。

気管支平滑筋が収縮する。

たんなどの分泌物が増える。

気道が狭くなり、呼吸が困難になる。

アレルギーが原因で発作がおこるもの

- ◇ ダニ
- ◇ ホコリ、カビ
- ◇ 動物の毛・フケ・フン
- ◇ 花粉
- ◇ 食べ物(たまご、牛乳、そば)など

アレルギーとは関係なく発作がおこるもの

- ◇ 花火のけむり
- ◇ 大人が吸うタバコの煙、線香の煙
- ◇ 冷たい空気
- ◇ 季節の変わり目
- ◇ 運動

症状

- 息とともにゼーゼー+・ヒューヒューという音がする(喘鳴)
- 咳や痰が出たり呼吸するのが苦しい(痰の増加、粘膜のむくみ)

発作が起きたら早めにお医者さんで診てもらってくださいね
苦しくなったら服をゆるめて上半身をおこした方が息をするのが楽になります
お薬は発作を止める薬と空気の通り道を長い時間ゆっくりひろげるお薬が必要です
治療も大切ですが予防はもっともっと大切です 発作が止まってからが治療‘本丸’です